

令和4年度事業報告書

社会福祉法人ともかわさき

目次

令和4年度総括 法人の事業運営について	1
重点項目	1
法人運営	2
評議員会・理事会	3
監査等の状況	4
諸会議	4
職員研修	5
事業別項目	6
＜通所サービス部門＞	6
（1）生活介護事業	6
（2）就労支援事業	15
（3）給食（配食）サービス事業	15
＜地域生活支援部門＞	16
（1）短期入所事業	16
（2）相談支援事業	18
（3）地域生活支援事業	20
（4）障害者生活支援・地域交流事業	22
＜居住支援部門＞	24
（1）共同生活援助事業	24
（2）福祉ホーム（指定管理事業）	26
＜法人事務部門＞	27
（1）法人本部事業	27
（2）地域福祉施設管理事業（市管理運営委託）	27
（3）地域福祉活動援助事業	27
（4）団体等補助・支援事業	27
（5）地域における公益的取組	28
付属明細書	28

令和4年度総括 法人の事業運営について

新型コロナウイルス対策が必要な社会環境下であったが、社会福祉法人としての事業運営については、各事業所が主導しつつ各種会議等により法人本部と連携し障害福祉サービスを提供し続けることができた。

福祉サービス提供の根幹である権利擁護の推進のための虐待防止委員会活動などコンプライアンスの徹底と職員の意識向上を図った。

職員は法人の財産と考え、適正な労務管理と労働環境の整備に努めた。

重点項目

令和4年度の重点項目については、以下のとおり取り組んだ。

(1) 財務基盤の安定

法人財務については、昨年度からの新型コロナウイルス（COVID19）の影響により在宅電話支援等の実施による事業収入の確保、人事などによる人件費比率の適正化、余裕資金の適切な資金運用を図るなどによる対応を図った。法人運営積立資産及び施設整備積立資産額の増加を行い法人の財務基盤の安定も図った。

(2) 人材の確保と育成・活用

人材確保については、年間を通して新卒・中途採用を行った。求人方法は、法人ウェブページ・有料求人サイト・ハローワーク等への掲載を中心に行い、その他に女性のための就職フェア等のイベントへの出展、看護職員については人材紹介を利用して確保した。福祉職の魅力を知ってもらうため、職業体験の機会の提供や保育士等の実習受け入れを行い、将来の採用に結び付ける方策も行った。

人材の育成については、知識及び技能の習得と向上を目的に階層別・職務別の Online 対応による法人内研修や外部研修参加を実施した。

人材の活用については、事業所管理者に主査職を任用し適切な人材の登用を図った。

(3) 事業所の整備

ア 「生活介護事業所かせやま」の開設

幸区北加瀬の旧つくし事業用地において令和5年2月に建物が竣工した。名称を「かせやま」に改め、「生活介護事業所かせやま」「地域相談支援センター ラルゴ」「とも移動支援等事業所」を併設し、令和5年3月に開設した。

3月は「どりーむ」の利用者のみを移行し、4月から「生活介護事業所ひらま」の希望する利用者が円滑に移行できるよう丁寧に進めた。

障害福祉サービス事業所「どりーむ」は休止とする。

イ 事業所の保全計画

「なかはら障害福祉施設ひらま」及び「障害福祉施設おおしま」の施設保全計画を策定した。それに伴い他の事業等の修繕チェックを実施し中期的な修繕計画試案を作成した。

ウ すえながの外壁等改修工事

平成13年に改築したすえながの外壁等の劣化が進んだため、令和5年2月から3月にかけて外壁・屋根の改修工事を行った。

(4) 地域との連携・交流

パラアート活動については、「まちかどパラアート展」を幸区役所、武蔵小杉駅前こすぎコアパーク、宮前区みんなの校庭プロジェクト平小学校、ねんりんピック総合開会式場横浜アリーナ、多摩市民館ギャラリー、麻生区万福寺おやしる公園、川崎アゼリア南広場等で開催した。なかはら障害福祉施設ひらまの「日中一時ひらま」では人形劇ワークショップを、「相談交流ひらま」では、定期的に絵画教室「アトリエひらま」、ダンス教室「HIRA☆DAN」やボランティア参加のファーマーズ菜園事業を行い地域交流機会の提供を行った。

法人運営

法人運営については、以下のとおり取り組んだ。

(1) コンプライアンスの強化と管理体制の確立

法人事業の運営に関しては、事業所での事業自己点検シート作成など、各事業所主導としつつも法人本部による事業所への指導面談を10事業所で実施し運営指導を行った。

内部監査の実施などにより法令に基づく事務事業実施の徹底及び法令遵守の徹底に努めた。特に、送迎車等での乗り降り確認など運営管理については再点検を行わせている。

各報告書の定期的な提出、管理職会議の開催、事務局通信の発行など法人本部による全体の管理体制を継続した。

(2) 権利擁護の推進

利用者の権利擁護、虐待防止などをテーマにした研修を計画に基づき実施した。

利用者の権利擁護、虐待防止などのため虐待防止委員会を設置し、定期的に会議を行うとともに、事業所職員にセルフチェックを行うなど意識向上を図った。

また、毎年10月の権利擁護月間には各事業所で独自の取り組みと研修を行った。

(3) 労務管理

就業管理システムにより勤務状況を把握することにより適正な労務管理を行い、残業削減など職員が働きやすい業務体制の構築に努めた。

職員は法人運営の財産と考え、出産、育児、介護など職員の状況に応じた働き方が可能な労働環境の整備に努めた。

また、「年金制度の機能強化のための国民年金法等の一部を改正する法律（令和2年法律第40号）」（年金制度改正法）適用に伴う加入対象者拡大に適正に対応した。

評議員会・理事会

(1) 評議員会

定 数 7～9名
評 議 員 明石洋子、池田健児、田部井恒雄、富永健太郎、成田すみれ
西矢健一郎、藤井礼子、美和とよみ

開催状況

第6回定時評議員会

日 時 令和4年6月27日（月）10時00分～11時40分
場 所 なかはら障害福祉施設ひらま 会議室
議 案 第1号議案 令和3年度決算の件

(2) 理事会

定 数 理事6名 監事2名
理 事 長 桑原賢治
理 事 石戸保夫、水野谷博路、渡辺典彦、堀内昭広、市田慎一
監 事 星 栄、奥山浩子

開催状況

第101回理事会

日 時 令和4年6月6日（月）10時00分～10時30分
場 所 なかはら障害福祉施設ひらま 会議室
議 案 第1号議案 定時評議員会の招集の件
第2号議案 令和3年度事業報告の件
第3号議案 令和3年度決算の件
第4号議案 給与及び退職金規程の一部改正の件

第102回理事会 決議の省略で実施

日 時 令和4年9月27日
議 案 第1号議案 社会福祉法人ともかわさき就業規則の一部改定の件
第2号議案 社会福祉法人ともかわさき育児・介護休業等に関する
規則の一部改定の件
第3号議案 社会福祉法人ともかわさき給与及び退職金規程の一部
改定の件

第103回理事会

日 時 令和4年12月9日（金）10時00分～10時30分
場 所 なかはら障害福祉施設ひらま 会議室
議 案 第1号議案 令和4年度第1次補正予算案の件

第104回理事会 決議の省略で実施

日 時	令和5年1月11日
場 所	なかはら障害福祉施設ひらま 会議室
議 案	第1号議案 社会福祉法人ともかわさき運営規程の一部改定の件 第2号議案 令和4年度第2次補正予算の件

第105回理事会

日 時	令和5年3月31日（金）10時30分～11時30分
場 所	なかはら障害福祉施設ひらま 会議室
議 案	第1号議案 就業規則の一部改定の件 第2号議案 育児・介護休業等に関する規則の一部改定の件 第3号議案 給与及び退職金規程の一部改定の件 第4号議案 経理規程の一部改定の件 第5号議案 役員賠償責任保険の継続加入の件 第6号議案 令和5年度事業計画の件 第7号議案 令和5年度予算の件

監査等の状況

(1) 法人監事監査

監事による内部監査 令和4年5月31日（火）

(2) 法人指導面談

理事長、事務局長、法人事務局管理職、他事業所管理者が事業所を訪問し、事前提出調書により、事業所役職職員及びサービス管理責任者から運営状況等の報告を受け質疑等を行った。

令和4年11月16日	ライブリー
11月18日	生活介護事業所おおしま 就労支援事業所おおしま
11月22日	生活介護事業所ひらま とも移動支援等事業所 地域相談支援センターラルゴ
11月25日	ちとせ
11月29日	すえなが
12月13日	あかね
12月20日	なんぺい

諸会議

- ① 事業執行委員会 事業執行委員（理事長及び理事）
4/12、5/10、6/14、7/12、9/13、10/11、11/8、12/6、1/10、2/7、3/7
- ② 管理職・管理者会議 管理職・事業執行委員・管理者
4/19、5/17、6/21、7/19（書面）、8/19（書面）、9/20、10/18、11/15、12/16
1/17、2/14、3/14
- ③ 主査主任会 主査・主任・担当管理職
10/27、3/16
- ④ サービス管理責任者会 サービス管理責任者・担当管理職
6/2、9/15、1/19
- ⑤ 看護師会 看護師・担当管理職
6/1、10/24、3/1
- ⑥ 栄養士会 栄養士・担当管理職
3/11
- ⑦ 虐待防止委員会
5/18、8/25、2/21

職員研修

新人職員研修会 令和4年度採用職員（新卒・中途）対象

主な対象	内容	月日	場所
1年目職員	法人の理念、業務マニュアル	4/6、4/27、11/17	ひらま
	福祉職としての「仕事への意識・取り組み方」	5/11、5/26、11/24	ひらま
	安全な施設運営について	1/18、1/26	ひらま
	他事業所の先輩職員との交流	2/15	ひらま

法人内研修（階層別、職務別）

主な対象	内容	月日	場所
2年目職員	障害特性について	5/18、5/25	ひらま
	記録について	6/15、6/29	ひらま
	利用者・家族への精神的ケア	10/6、10/13	ひらま
	障害者虐待と防止について	2/2、2/8	ひらま
3・4年目職員	法人の理念に基づく権利擁護	9/7、1/27	ひらま
	虐待防止と行動制限	9/28	ひらま
	利用者満足を考える	10/5	ひらま
	コミュニケーション、伝え方	10/19	ひらま
	福祉制度の理解	10/26	ひらま

中堅職員	家族支援について	7/14	ひらま
	インシデントプロセス法による事例検討会	11/9	ひらま
	感染症対策について	1/24	ひらま
サビ管	新任サビ管研修	5/12	ひらま
	医療・健康面	6/8	ひらま
	育成力・指導力	12/21	ひらま
主任・主査	1～2年目の主任研修	5/10	ひらま
	主査・主任研修	12/19	ひらま
限定なし	コンサルテーション(事例研究)	5/19,6/16 10/20,11/16	ひらま

安全運転講習会

主な対象	内容	月日	場所
1年目職員	運転実地、車両運転講習会	7/7,12/14	各事業所
車両担当者	運転講義	10/21	ひらま

外部研修会

業務命令及び職員の希望等により外部機関等の開催する研修会に職員派遣した。

事業別項目

<通所サービス部門>

(1) 生活介護事業

生活介護 11 事業所で、利用定員合計 408 名で障害者総合支援法に基づき事業を実施した。

事業所では、車両による利用者送迎サービス、日中活動として作業・文化・余暇・スポーツレクリエーション・給食・介護・就労支援などのサービスを提供した。

① 生活介護事業所おおしま

利用者の状況			
利用者数	31 名	定員	35 名
新規利用者数	1 名	特別支援学校	1 名
利用終了者数	1 名	退所先等	転居先の長野県、通所施設
利用者援助の基本方針			
<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの人権を尊重し、利用者主体の上質なサービスを提供する。 実践した後振り返って検証することで支援に厚みを持たせる。 			
送迎			
車両台数	3 台	送迎利用者数	概ね 27 名
送迎エリア	川崎区		
防火・防災訓練状況			
地震・火災想定	6/15	おおしまトンボ公園へ避難	
地震・火災想定	10/19	おおしまトンボ公園へ避難	
火災想定	12/14	おおしまトンボ公園へ避難	
火災想定	3/15	おおしまトンボ公園へ避難	
大きな行事・地域交流等			
健康診断	6/29	AOI 病院の検診車を呼び、施設内での健康診断	
夏祭り	7/21	室内にてミニ夏祭り、縁日、ゲーム、キッチンカー。	
バス旅行	10/5/13	2回に分けて実施。福祉バスで鉄道博物館へ出かける。	
お楽しみ会	11/25	室内でゲーム、キッチンカーのデザート、クイズ他	
新年会	1/12	書初め、福笑い等の正月遊び。	

② わたりだ

利用者の状況			
利用者数	19 名	定員	20 名
新規利用者数	1 名	特別支援学校	
利用終了者数	0 名		
利用者援助の基本方針			
<ul style="list-style-type: none"> 「安全」を保証し、利用者が「安心」して利用できるサービスを提供する。 利用者が「充実感」を得られるように支援する 福祉の専門職として自信を持って仕事出来る職員になる。 			

送迎			
車両台数	2台(内リフト車1台)	送迎利用者数	概ね17名
送迎エリア	川崎区、幸区		
防火・防災訓練状況			
避難訓練	8/10	火災想定	
総合訓練	2/14	地震・火災想定	
大きな行事・地域交流等			
健康診断	6/29	AOI病院の検診車にて、施設内での健康診断	
お楽しみ会	12/6	キャンドルライト作り、ドライブ	
お楽しみ会	2/17	紙芝居、ビンゴゲーム、デザートタイム	

③ むぎの穂

利用者の状況			
利用者数	27名	定員40名	
新規利用者数	1名	通所施設移行	
利用終了者数	1名	転居	
利用者援助の基本方針			
<ul style="list-style-type: none"> 利用者・ご家族が安心して利用できる施設を目指す。 利用者やご家族、グループホームそれぞれのニーズ(困り感に対するニーズ含め)把握することに努め、本人主体とは何かを考えて、他機関とも連携を取りながら上質なサービス提供を行う。 			
送迎			
車両台数	3台	送迎利用者数	概ね18名
送迎エリア	川崎区・幸区		
防火・防災訓練状況			
避難訓練	5/25	地震を想定	
総合避難訓練	7/25	地震から火災を想定	
総合避難訓練	9/26	地震から火災を想定	
避難訓練	1/17	火災を想定	
総合避難訓練	3/14	地震から火災を想定、消火器訓練実施	
大きな行事・地域交流等			
夏祭り	7/22	室内レク・調理	
調理会	5/20、6/17、9/16、1/13		
スペシャル外出デー	10/14	観光バスにて横須賀へ行き、海軍カレーを食べて、軍港巡りツアー	
	11/18	アーに乗船。	
お楽しみ会	12/16	クリスマス会	
ボーナスランチ	2/17	横浜ワールドポーターズ内ビュッフェレストランで昼食	
送別会	3/31	スライドで1年間の振り返りと、送別会	
開所日	好きな昼食やデザートなど購入して食べる企画を毎回実施。		
この他に、年間通じて「むぎ人の旅(個別外出)」を1人年2回行った。			

④ どりーむ

利用者の状況			
利用者数	20名	定員	20名
新規利用者数	1名	入所から地域移行	
利用終了者数	20名	1名 入院、在宅不可のため、契約更新せず終了。 19名 2月末どりーむ休止のため、かせやまに移行	
利用者援助の基本方針			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者が「安心」して利用できるサービスを提供する。 ・ より「上質なサービス提供」を目指す。 (法人の理念に基づいた施設運営を目指す。) 			
送迎			
車両台数	2台(内リフト車 1台)	送迎利用者数	概ね 15名
送迎エリア	幸区・中原区		
防火・防災訓練状況			
避難訓練	5/25	地震想定	
避難訓練	7/26	地震・火災想定	
避難訓練	9/27	地震・火災想定	
避難訓練	11/29	地震・火災想定	
避難訓練	1/23	震災・火災想定	
大きな行事・地域交流等			
歓迎会	4/4	新職員の歓迎会	
かき氷会	8/10	すいか割り&かき氷	
昼食会	6/28,7/8	事業所で作った食事や、好きなお弁当を購入し食事を楽し	
	10/21,11/7	む	
	1/26,2/8		
忘年会	12/16	昼食会・室内レク	
バスハイク	9/22	福祉バス使用し、上野でランチ	
個別ランチ	10月～12月	1人1回、個別(2～3名)にて希望を聞き、外食会を実施	
慰労会	2/20	デザートとお茶会、どりーむでの活動振り返りと送別会	

⑤ 生活介護事業所かせやま

利用者の状況			
利用者数	19名	定員	40名
新規利用者数	19名	どりーむ休止に伴い、3月より全利用者が移行	
利用終了者数	0名		
利用者援助の基本方針			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者が「安心」して利用できるサービスを提供する。 ・ より「上質なサービス提供」を目指す。 (法人の理念に基づいた施設運営を目指す。) 			
送迎			
車両台数	2台(内リフト車 1台)	送迎利用者数	概ね 14名
送迎エリア	幸区・中原区		

⑥ 生活介護事業所ひらま

利用者の状況			
利用者数	47名	定員	40名
新規利用者数	2名	特別支援学校	2名
利用終了者数	11名	かせやま	7名、桜の風1名、その他3名
利用者援助の基本方針			
<ul style="list-style-type: none"> ・ ひらまは利用者の皆様の「安心」を心がけてサービスを提供します。 ・ 利用されるみなさまの立場になって考え、丁寧な支援を提供します。 ・ ひとりひとりが元気で楽しく、自信をもって活動できるよう支援します。 			
送迎			
車両台数	7台(内リフト車6台)	送迎利用者数	概ね37名
送迎エリア	幸区・中原区		
防火・防災訓練状況			
避難訓練	5/17	地震を想定	
総合訓練	7/20	地震・火災を想定	
避難訓練	9/22	外出時の地震を想定	
避難訓練	11/8	火災を想定	
避難訓練	1/18	地震を想定	
避難訓練	3/10	火災を想定	
大きな行事・地域交流等			
ひらままつり	10/21	ハロウィンを意識した装飾、ゲームコーナーや外部のお弁当を楽しんだ。	
クリスマス会	12/16	16ミリフィルム上映会・小物作りやサンタからのプレゼントなど	
個別外出		行先を限定、緊急事態宣言やまん延防止等措置の期間は中止し希望者は一人1回外出。昼食を選択して購入。	
パラアート		Coiors かわさき・まちかどパラアート展・ノベルティグッズの参加	

⑦ 生活介護事業所ひさすえ

利用者の状況			
利用者数	43名	定員	57名
新規利用者数	3名		
利用終了者数	5名		
利用者援助の基本方針			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の「良さ」「強み」を生かした支援、「良さ」に気付いてもらえる支援を目指す。 ・ 権利擁護、意思決定支援について常に考える。 ・ 集団生活の中での個々の障害特性に応じた個別プログラムの充実。 ・ 防災の面も含め、地域との繋がりを大切にする。 			
送迎			
車両台数	7台(内リフト車3台)	送迎利用者数	概ね36名
送迎エリア	高津区・中原区・宮前区		

防火・防災訓練状況		
総合防災訓練	5/23	火災想定
総合防災訓練	1/30	火災想定
総合防災訓練	3/30	地震想定
大きな行事・地域交流等		
ハロウィン	10/28	施設内にて仮装・ゲーム
地域交流	11/5	自主製品販売会
クリスマス会	12/23	デリバリーランチ・写真立て作り
新年会	1/4～6	4～6日を新年会週間としゲームや催しを実施
DVD鑑賞会	1/7	日本女子大付属高校(人形劇)DVD鑑賞
節分会	2/4	豆まき

⑧ たちばな

利用者の状況			
利用者数	30名	定員	34名
新規利用者数	0名		
利用終了者数	2名	逝去	1名、契約終了
利用者援助の基本方針			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 日中活動支援や社会参加活動を促し、地域の中で充実した毎日をおくれるよう支援します。 ・ 権利擁護を最優先とし、お一人おひとりにあった支援・活動を提供します。 			
重点目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本方針に基づく上質なサービスを提供出来るよう、職員の資質向上を目指す。 			
送迎			
車両台数	3台(内リフト車1台)	送迎利用者数	概ね19名
送迎エリア	高津区・中原区		
防火・防災訓練状況			
避難訓練	4/26	地震・火災想定	
避難訓練	6/23	地震・火災想定	
総合避難訓練	10/21	地震・火災想定	
避難訓練	12/15	地震・火災想定	
総合避難訓練	2/21	地震・火災想定	
大きな行事・地域交流等			
クリスマス会	12/23	のど自慢大会・ビンゴ大会とクリスマスランチ	
日帰り旅行	10/5	宮ヶ瀬ダム散策	
	12/14		
※地域交流は、今年度も地域の方やボランティアさんに参加して頂く新年会は感染予防のため未実施。代わりに定期的な公園清掃等で地域交流を図った。			

⑨ ちとせ

利用者の状況			
利用者数	31名	定員	40名
新規利用者数	1名	就労継続B施設	
利用終了者数	5名		
利用者援助の基本方針			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門性を持って利用者に対し支援を行う ・ 障害特性に応じた個別プログラムを提供する ・ 利用者自身に答えを出してもらえようような支援を行う 			
送迎			
車両台数	4台(内リフト車3台)	送迎利用者数	概ね20名
送迎エリア	高津区・宮前区		
防火・防災訓練状況			
避難訓練	5/24	地震を想定	
避難訓練	10/14	火災を想定 通報訓練実施	
避難訓練	12/16	土砂・洪水を想定	
大きな行事・地域交流等			
個別外出 ランチ会	通年	個別外出ランチ会共各1回	
クリスマス会	12/20	ビンゴ大会	
新年会	1/7	書初め、正月遊び	
地域活動	毎週	地域清掃を行っている	

⑩ すえなが

利用者の状況			
利用者数	36名	定員	40名
新規利用者数	0名		
利用終了者数	0名		
利用者援助の基本方針			
<ol style="list-style-type: none"> ① 支援の個別化の充実 ② 個別化を図るためのケースの掘り下げ(ケース会議の実施) ③ 利用者支援の方法(虐待防止・権利擁護の観点から)を共有 ④ 環境整備 			
重点目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 一人ひとりのニーズ・個性・特技を尊重した支援を目指す 			
送迎			
車両台数	3台	送迎利用者数	概ね22名
送迎エリア	高津区・宮前区		

防火・防災訓練状況		
避難訓練	5/23	地震想定
総合避難訓練	7/25	地震想定
避難訓練	9/26	地震想定
総合避難訓練	11/15	地震想定
避難訓練	1/26	地震想定
避難訓練	3/14	地震想定
大きな行事・地域交流等		
グループ遠足①	5/20 9/22 11/2 2/22	横浜大世界
グループ遠足②	10/14 10/21 1/19	アクアリウム相模原科学館
イベント	6/17	カローリンとゲーム大会
イベント	9/16	写真立てデコレーションとサンリオ施設訪問
クリスマス会	12/9	レストランでの会食
※ その他、個別外出を1人年1回実施。		
※ 地域交流…地域清掃を定期的実施		

⑪ あかね

利用者の状況			
利用者数	53名	定員	47名
新規利用者数	1名	その他	1名
利用終了者数	2名	老人施設	1名、その他1名
利用者援助の基本方針			
<ul style="list-style-type: none"> • 1人の大人として個性を尊重し、1人1人に寄り添った支援を行います。 • 職員間では連携を大事にし、支援計画に沿った支援を提供いたします。 • 法人の理念を理解し実践できる職員集団を目指します。 			
送迎			
車両台数	8台(内リフト車3台)	送迎利用者数	概ね50名
送迎エリア	多摩区・麻生区・宮前区		
防火・防災訓練状況			
避難訓練	5/12	地震を想定(1・2階)	
避難訓練	8/16	火災を想定(1・2階)	
避難訓練	10/11	地震を想定(1・2階)	
避難訓練	11/17	火災を想定(1・2階)	
避難訓練	1/7	火災を想定(1・2階)消火訓練	
避難訓練	3/15	地震を想定(1・2階)	

大きな行事・地域交流等		
あかねまつり	11/5	1 階・2 階合同で行ったが、コロナ対策のため、保護者・外部の方々は招待せず。ダンス以外はVTR 放映とした。
個別外出	前期 8～10 月 後期 1～2 月	1 人年 2 回。 前期・後期共に利用者からアンケートを取り、人混みの無い場所を職員が決め実施。
グルメ旅行	6/22 7/8・15	花菜ガーデンにて食事・見学。福祉バス2台、中型バス1台、各回に送迎車も利用。
クリスマス会	12/4	演奏会・プレゼント抽選会・食事(KFC)・ケーキでクリスマスを楽しむ。
新年会	1/7	あかね神社でおみくじを引き、お汁粉(餅なし)でお正月気分を演出した。
茶ちゃっと会	3/31	PM 開催。お菓子と飲み物、1 年間の写真をスライドショーで鑑賞し、1 年を振り返った。

⑫ なしの実

利用者の状況			
利用者数	36 名	定員	35 名
新規利用者数	0 名		
利用終了者数	0 名		
利用者援助の基本方針			
<ul style="list-style-type: none"> 法人の理念を遂行しつつ、表面に見えていることだけにとらわれず、その人の本質(魅力的な部分や長所)を見る目を持つことを大切に考えていく。 接遇力を上げることをチーム目標とし、接遇マナー5 原則を大切に支援する。 			
送迎			
車両台数	5 台(内リフト車 2 台)	送迎利用者数	概ね 32 名
送迎エリア	多摩区・麻生区・宮前区の一部		
防火・防災訓練状況			
総合訓練	5/10	地震想定	
避難訓練	7/6	火災想定	
総合訓練	9/9	地震想定	
避難訓練	11/8	火災想定	
避難訓練	1/19	地震想定	
総合訓練	3/8	火災想定	
大きな行事・地域交流等			
ランチ会	9 月	近隣のファミレスにてグループごと食事会を行った。	
個別外出	10～11 月	全グループオギノパン工場見学と外食を楽しんだ。	
クリスマス会	12/9	クリスマス亭に行きランチ会を行う。	
新年会	1/7	書初め、なしの実神社初詣を行い、食事は釜寅のデリバリーを注文した。	

(2) 就労支援事業

障害福祉施設おおしま（川崎区大島4丁目）内の「就労支援事業所おおしま」で、障害者総合支援法に基づく就労継続支援B型を定員20名で実施した。

① 就労支援事業所おおしま

利用者の状況		
利用者数	19名	定員20名
新規利用者数	2名	特別支援学校1名、その他1名
利用終了者数	3名	生活介護へ移行2名、一般就労へ移行1名
利用者援助の基本方針		
<ul style="list-style-type: none">・自分の個性を生かした作業に取組み、その成果として工賃と充実感を得る。・仕事を通して、地域の方や他機関の方との触れ合いを図る。		
防火・防災訓練状況		
避難訓練	9/3	浸水災害想定
避難訓練	9/6	地震・火災想定
大きな行事・地域交流等		
5/7	映画鑑賞会	
7/2	七夕飾り作り	
8/1	スイカゼリー作り、スイカ割	
9/3	オリジナルタンブラー作り	
10/1	ランプカバー作り	
11/5	お祭りゲーム大会	
12/3	カレンダー/リース作り&ビンゴ大会	
1/7	初詣&干支だるま作り	
2/4	バレンタインデーチョコとキーホルダー作り	
※原則として土曜日以外のレクリエーションは無い。		

(3) 給食（配食）サービス事業

「ひらま」「ちとせ」「すえなが」の3事業所で各事業所への配食サービスを実施した。
また、「ひらま」においては短期入所利用者へ給食を提供した。夕食に関しては外部配食サービスの利用を開始した。

<地域生活支援部門>

(1) 短期入所事業

短期入所2事業所で、障害者総合支援法に基づき事業を実施した。

① ライブリー

短期入所を利用定員10名、日中短期入所は利用定員5名で実施した。短期入所定員10名のうち2名は「川崎市障害者(児)緊急短期入所ベッド確保事業要綱」に基づく緊急入所定員とした。

事業所では短期宿泊及び日中活動のサービスを提供した。給食については業務委託を行い利用者に提供した。昼食は生活介護事業所わたりだの利用者等にも提供した。

1. 利用者の状況(利用宿泊数)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均	同昨年
宿泊	男	103	115	121	68	88	96	72	75	67	72	95	86	1,058	2.9	2.3
	女	61	70	65	50	59	56	90	87	80	63	70	76	827	2.3	1.8
	計	164	185	186	118	147	152	162	162	147	135	165	162	1,885	5.2	4.1
内緊急枠		28	33	29	23	23	7	18	30	26	24	24	15	280	0.8	0.3
日中		8	7	10	8	14	8	11	7	6	11	11	9	110	0.3	

2. 障害程度区分別割合(%) ※児童1.2.3は児童の障害程度区分

区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	児童1	児童2	児童3	合計
3.7	0.1	5.3	16.8	25.7	48.0	0.0	0.0	0.4	100.0

3. 地区別割合(%)

川崎	大師	田島	幸	中原	高津	宮前	多摩	麻生	市外	合計
17.9	8.8	13.1	16.5	10.4	14.2	6.1	9.3	3.7	0.0	100.0

4. 宿泊利用集計

実人数累計	531
個人数	114
平均宿泊数	16.5

利用者援助の基本方針

- ①サービス計画、ケース記録に基づいた職員の統一した対応
- ②選択肢を設けた充実したプログラムの提供
- ③事故の再発予防
- ④安全・安心と人権に配慮した支援

防火・防災訓練状況(実施月日・内容)

- 5月 水消火器訓練(全職員対象)
- 6月 夜間想定総合避難訓練 ※職員が利用者役となった、シミュレーション訓練の実施。災害時設備等の使用訓練
- 8月 総合避難訓練(地震・火災) 安全な場所への避難訓練(利用者共に実施)
- 3月 津波を伴う大地震時の建物内垂直避難訓練 避難場所と経路の確認

② 短期入所事業所ひらま

短期入所を利用定員 12 名で実施した。事業所では短期宿泊及び日中活動のサービスを提供した。給食については朝食・昼食は生活介護事業所ひらまの配食サービスを利用し、夕食については外部の配食サービスを導入した。

1. 利用者の状況(利用宿泊数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均
男	110	124	111	104	113	126	117	100	116	102	118	114	1,355	3.7
女	68	63	68	78	61	61	58	74	63	57	68	70	789	2.2
計	178	187	179	182	174	187	175	174	179	159	186	184	2,144	5.9

2. 障害程度区分別割合(%) ※児童 1.2.3 は児童の障害程度区分。

区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	児童 1	児童 2	児童 3	合計
0.0	1.9	2.0	16.7	27.1	51.3	0.0	0.0	1.0	100.0

3. 地区別割合(%)

川崎	大師	田島	幸	中原	高津	宮前	多摩	麻生	市外	合計
4.9	3.4	3.1	34.7	21.7	21.3	7.5	3.3	0.1	0.0	100.0

4. 宿泊利用集計

実人数累計	2,157
個人数	146
平均宿泊数	14.8

利用者援助の基本方針

- ①利用者個々の人格・人権を尊重した支援を行なう
- ②サービス計画に基づいた職員の統一した支援を行なう
- ③選択肢を設けた自己決定が可能な活動を提供する
- ④事故防止及び再発防止に努める

防火・防災訓練状況

- 5月 夜間火災訓練
- 7月 昼間合同避難訓練
- 8月 水害訓練
- 9月 夜間避難訓練、防災設備自主点検
- 11月 昼間避難訓練
- 1月 夜間避難訓練
- 3月 夜間避難訓練、防災設備自主点検

(2) 相談支援事業

地域相談支援センター2事業所で、地域で生活する障害者及び家族等の相談に応じ、各種サービスの利用援助・調整などを通じて地域生活に必要な支援等を行う計画・地域移行の事業を実施した。

また、相談交流ひらまでは指定特定相談支援事業所として、一般相談支援及び計画相談支援を実施した。

① 地域相談支援センター ラルゴ

今年度は、なかはら障害福祉施設ひらま内に事業所を置き、相談支援専門員2名で、幸区における計画・地域移行等の相談支援を行った。

令和5年3月に「かせやま」に移転した。

利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問	25	36	42	29	29	34	24	20	21	25	30	51	366
来所	8	12	9	7	8	7	5	4	7	11	9	8	95
同行	17	9	22	10	7	14	9	7	5	8	11	15	134
個別支援会議	2	4	5	0	3	2	2	3	0	1	1	4	27
計画書作成	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

② 地域相談支援センター ドルチェ

相談支援専門員2名で、多摩区における計画・地域移行等の相談支援を行った。

利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問	34	39	57	45	40	48	35	46	33	39	46	43	505
来所	6	5	12	9	6	8	8	6	7	9	9	10	95
同行	25	9	9	18	12	13	15	16	19	9	13	22	180
個別支援会議	5	11	4	4	3	7	5	9	8	8	2	6	72
計画書作成	2	0	1	0	0	3	1	0	0	1	0	0	8

③ 相談交流ひらま

なかはら障害福祉施設ひらま内に事業所を置き、専門相談員1名で、中原区における計画相談支援を行った。

相談対象者

		障害者	障害児
実人員(人)		26	0
延べ相談件数	身体障害	0	0
	重症心身障害	47	0
	知的障害	993	0
	精神障害	94	0
	発達障害	0	0
	高次脳機能障害	0	0
	その他	29	0
	計	1,163	0

支援内容

内容	件数
生活支援見守り	453
健康・医療	122
余暇活動等	0
子育て	0
不安解消	9
対人関係	7
ボランティア・研修に関する情報提供等	0
権利擁護	27
関係機関等との連絡調整・支援	96
福祉サービス	219
左のうち緊急短期入所の件数	8
計画相談支援・地域相談支援	199
災害時個別避難計画の作成件数	0
その他	23
計	1,163

支援方法		件数
訪問	家庭	79
	関係機関	137
面接(来所)		62
同行		51
電話等相談		814
その他		20
計		1,163

対応時間帯	件数
日中	1,147
夜間	16
休日	0
計	1,163

(3) 地域生活支援事業

① とも移動支援等事業所

なかはら障害福祉施設ひらま内に事業所を置き、障害福祉サービスの行動援護、川崎市の地域生活支援事業の移動支援及びあんしんサポートをヘルパー12名・他事業所職員4名で実施した。主に土曜・休日の外出余暇活動による社会参加への支援や自宅での家事援助・見守りなどの生活支援サービスを提供した。

令和2年度以降、コロナの影響で思うようにサービス提供が出来ない状況が続いていたが、4年度は前年度比で利用者61人増、サービス件数82件増、サービス時間469時間増と大分改善されている。

ヘルパーのスキルアップとして行動援護従事者養成研修の受講を奨励した。

ここ数年の課題として、慢性的にヘルパー専任従業者が不足しており、各事業所の応援が必要な状況である。それでも人手不足はカバーしきれず、すべてのニーズには応えきれていない。

コロナによる制限は少しずつ緩和されてきているが、引き続き感染拡大防止に努めつつサービス提供を行う。

利用状況

月	項目	利用の内容			個人数計 (否重複)
		行動援護	移動支援	合計	
4月	件数	13.0	15.0	28.0	22人
	延べ時間	76.5	89.5	166.0	
5月	件数	14.0	13.0	27.0	21人
	延べ時間	81.5	85.5	167.0	
6月	件数	14.0	15.0	29.0	21人
	延べ時間	77.5	94.0	171.5	
7月	件数	12.0	13.0	25.0	16人
	延べ時間	67.5	77.5	145.0	
8月	件数	12.0	14.0	26.0	18人
	延べ時間	69.0	74.5	143.5	
9月	件数	13.0	12.0	25.0	17人
	延べ時間	79.5	64.5	144.0	
10月	件数	13.0	16.0	29.0	21人
	延べ時間	80.5	96.0	176.5	
11月	件数	13.0	20.0	33.0	24人
	延べ時間	79.5	108.0	187.5	
12月	件数	12.0	17.0	29.0	22人
	延べ時間	73.5	98.5	172.0	
1月	件数	15.0	20.0	35.0	25人
	延べ時間	91.5	109.0	200.5	
2月	件数	14.0	16.0	30.0	22人
	延べ時間	87.0	99.0	186.0	
3月	件数	15.0	21.0	36.0	27人
	延べ時間	93.0	118.0	211.0	
合計	件数	160.0	192.0	352.0	256人
	延べ時間	956.5	1114.0	2070.5	

② 日中一時支援事業所「ひらま」

なかはら障害福祉施設ひらま内に事業所を置き、利用定員 10 名で川崎市日中一時支援（障害児・者一時預かり）事業実施要綱に基づき事業を実施した。

主に夕方支援を中心にサービスを提供した。

1. 利用者の状況(延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
男	36	38	37	33	27	20	27	28	26	22	26	15	335	27.9
女	48	50	56	47	39	47	51	50	51	41	53	60	593	49.4
合計	84	88	93	80	66	67	78	78	77	63	79	75	928	77.3

2. 利用者の状況(曜日別)

	月	火	水	木	金	合計
男性	2	4	2	1	2	11
女性	4	3	3	5	3	18
合計	6	7	5	6	5	29

3. 利用者の状況(障害程度区分別) ※児童 1.2.3 は児童の障害程度区分。

区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	児童 1	児童 2	児童 3	合計
0	0	0	1	6	4	0	0	0	11

利用者援助の基本方針

- 日中支援事業所との連携や情報の共有を図り、利用者への日常生活上の支援を行うとともに、夕方から夜間にかけての時間帯といった特性から、負担の少ない活動や内容の選択できる活動を提供する。
- 日中一時支援計画を作成し、それに基づき支援を行う。また既に支給決定を受けているサービスに支障をきたさないよう配慮する。

防火・防災訓練状況(実施月日・内容)

- 6月 昼間避難訓練
- 7月 昼間合同避難訓練
- 10月 昼間避難訓練
- 3月 昼間避難訓練

大きな行事・地域交流等(名称・月日・内容)

- 人形劇(6月より月 1~2回、木曜日実施、にこにこあおむし劇団の講師を招いて演劇の道具作成、演劇の実施)
- 花火大会(9月)
- 鹿島田ハロウィンかかし作り(10月)
- 芋ほり(11月)
- クリスマス会(12月)
- 新年会 川崎大師(1月)
- COLORS 出展作品作成(10月作成、11月ミューザかわさき見学)
- まちかどバラアート作品作成(11月 横浜アリーナ、12月 手をつなぐフェスティバル、2月 万福寺、3月 川崎アゼリア)

(4) 障害者生活支援・地域交流事業

① 相談交流ひらま

「相談交流ひらま」において、障害特性を踏まえて社会適応力や生活力を高めるための支援を行うとともに、地域住民によるボランティアを育成し、協働することで、障害者等の地域生活支援の担い手の充実を図る取り組みとして、(ア) ボランティア協働事業 (イ) パラアート活動事業 (ウ) ファーマーズ菜園事業 (エ) 施設開放事業 (オ) 情報発信事業などを行った。

前年度に続き、新型コロナウイルスの影響により施設開放事業は制限せざるをえなかった。

(ア) ボランティア協働事業 (ファーマーズ菜園事業)

日程	対象者	内容	参加人数
毎週木曜日	地域・生活介護 ひらま	菜園活動 菜園を通してのボランティア活動 収穫したバジルをレストラン「ループ」に納品	133人

(イ) パラアート活動事業

パラアート・交流事業(ダンス)

日程	内容	参加人数
毎週火曜日	ダンス教室 NEC、障害者、地域住民の参加	710人
5月	PV 動画作成	
10/15	ダンス参加 玉川地区夏祭り	
10/27	” てくのかわさき(ハロウィン)	
3/5	” 大師 ONE 博	

パラアート・交流事業 (絵画教室)

日程	内容	対象者	参加人数
7月 10月 11月 12月 1月 2月 月1回 土曜日	絵画教室 Studio FLAT、はなうた図工 室、林明水	地域 施設利用者	131人
2月	作品展示 うめかおる写真展応募		
2/5	NEXT100KAWASAKI		

パラアート・交流事業(まちかどパラアート)

日程	内容	対象者	参加人数
2/5	関係施設連絡会 パラアート連絡会	地域	20人
6/4	こすぎコアパーク	施設利用者	
11/6	平小学校		
11/4	COLORS 川崎市労働会館		
11/10~20	COLORS ミューザ川崎		
11/12	ねんりんピック横浜アリーナ		
12/3	手をつなぐフェスティバル		
2/14~18	アートガーデンかわさき		
2/23	万福寺おやしる公園		
2/25	川崎アゼリア		
12/27	ノベルティ作成 川崎市信用保証協会		とも事業所

パラアート・交流事業(その他)

日程	内容	対象者
隔週木曜日	人形劇 にこにこあおむし人形劇団 洗足学園音楽大学講師	日中一時ひらま
10/15、1/6	打楽器コンサート 打楽器コンサートグループあしあと	放課後デイ 生活介護ひらま
	デジタル紙芝居作成	とも事業所
12/16	映画上映 中原映写機の会	生活介護ひらま
10/16~11/3	かかし作成 鹿島田ハロウィン(鹿島田商店街)	ひらま

(ウ) 施設開放事業

対象者	内容
とも事業所・各団体	会議室・体育室貸出 とも事業所・ダンス教室・川崎市への貸出

(エ) 情報発信事業・デジタル配信事業

内容	
ニュースレター・SNS 配信	情報配信・告知

(オ) 地域・機関との連携

内容	対象者
自主製品販売・紹介 新川崎タウンカフェ	法人内事業所
食糧支援 SOS 事業(市社協)	地域

<居住支援部門>

(1) 共同生活援助事業

とも共同生活事業所

とも共同生活事業所として7グループホームで、定員合計34名で障害者総合支援法に基づき事業を実施した。

世話人及び生活支援員が交代で業務を行い、食事(朝食・夕食)の提供や日常の身辺支援、通院同行などを行った。

支援にあたっては、入居者の自主性・自立性を尊重するとともに、障害特性に配慮しながら、必要な支援を提供するよう努めた。

名称	グループホーム なんぺい		
設置	平成12年9月	所在地	宮前区南平台16-15-401.402.301
利用定員	女性4名、現員4名		
入居者	平均年齢48.7歳	就労先	福祉施設3名、一般就労1名
名称	グループホーム なかのしま1		
設置	平成28年3月	所在地	多摩区中野島4-20-8 1階
利用定員	男性5名、現員5名		
入居者	平均年齢41.0歳	就労先	福祉施設5名
名称	グループホーム なかのしま2		
設置	平成28年3月	所在地	多摩区中野島4-20-8 2階
利用定員	女性5名、現員5名		
入居者	平均年齢46.6歳	就労先	福祉施設5名
名称	グループホーム なかのしま3		
設置	令和2年3月	所在地	多摩区中野島6-6-13 1階
利用定員	男性5名、現員5名		
入居者	平均年齢45.2歳	就労先	福祉施設4名、一般就労1名
名称	グループホーム なかのしま4		
設置	令和2年3月	所在地	多摩区中野島6-6-13 2階
利用定員	女性5名、現員5名		
入居者	平均年齢43.6歳	就労先	福祉施設5名
名称	グループホーム なかのしま5		
設置	令和3年3月	所在地	多摩区中野島6-6-14 1階
利用定員	男性5名、現員5名		
入居者	平均年齢35.4歳	就労先	福祉施設4名、その他1名
名称	グループホーム なかのしま6		
設置	令和3年3月	所在地	多摩区中野島6-6-14 2階
利用定員	女性5名、現員4名		
入居者	平均年齢39.7歳	就労先	福祉施設4名

利用状況（宿泊延回数）

入居者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	利用率
なんべい	A/区分6	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.4	100%
	B/区分2	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.4	100%
	C/区分3	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.4	100%
	D/区分5	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.4	100%
なかのしま1	A/区分6	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.4	100%
	B/区分5	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.4	100%
	C/区分5	18	16	22	20	12	18	19	18	21	19	19	24	226	23.5	61%
	D/区分4	20	18	22	19	23	20	20	22	20	20	22	23	249	20.8	68%
	E/区分5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	19	21	52	17.3	69%
なかのしま2	A/区分5	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.4	100%
	B/区分4	19	24	22	23	22	23	20	25	18	22	22	23	263	21.9	72%
	C/区分4	27	26	29	30	30	29	29	30	30	25	27	31	343	28.5	93%
	D/区分3	20	20	22	21	24	21	20	22	21	20	22	21	254	21.1	69%
	E/区分3	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.4	100%
なかのしま3	A/区分5	20	17	22	15	13	20	20	22	20	19	21	23	232	19.3	63%
	B/区分4	28	27	30	31	31	24	29	26	29	28	28	28	339	28.2	92%
	C/区分4	19	17	22	20	12	14	20	20	24	19	20	23	230	19.1	63%
	D/区分4	18	17	22	22	23	18	20	20	18	20	17	21	236	19.6	63%
	E/区分3	20	17	22	18	13	20	20	22	23	19	23	23	240	20.0	66%
なかのしま4	A/区分6	28	27	30	29	31	29	30	29	29	29	28	30	349	29.0	96%
	B/区分4	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.4	100%
	C/区分3	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.4	100%
	D/区分3	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.4	100%
	E/区分3	26	27	23	26	27	23	25	26	24	25	25	26	303	25.3	83%
なかのしま5	A/区分6	20	17	22	15	23	22	24	21	24	26	28	31	273	22.7	75%
	B/区分5	17	16	20	17	19	17	13	16	17	17	15	16	200	16.6	55%
	C/区分4	20	17	22	20	20	11	20	19	20	19	19	21	228	19.0	62%
	D/区分4	20	17	22	20	20	14	20	20	20	19	19	18	229	19.0	63%
	E/区分4	20	17	22	20	20	14	20	19	20	19	19	21	231	19.2	63%
なかのしま6	A/区分5	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.4	100%
	B/区分4	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.4	100%
	C/区分4	20	17	22	20	23	17	19	26	20	19	22	22	247	20.5	68%
	D/区分3	0	0	0	0	0	0	0	0	4	31	28	31	94	23.5	100%
														0	0.0	0%
合計		770	757	808	789	789	744	791	793	805	830	807	880	9,563	829.3	83%

防火・防災訓練状況		
なんぺい	6/30	消防用設備等点検実施
	9/12	防火対象物立入検査実施。 不備なし。
なかのしま1・2	6/28	消防用設備等点検実施
	3/24	消防用設備等点検実施
なかのしま3・4	6/29	消防用設備等点検実施
	3/24	消防用設備等点検実施
なかのしま5・6	6/29	消防用設備等点検実施
	3/24	消防用設備等点検実施

(2) 福祉ホーム（指定管理事業）

三田福祉ホーム

三田福祉ホームの指定管理者として利用定員 10 名、職員 4 名で「三田福祉ホームの管理に関する基本協定書」に基づき第 4 期指定管理期間（令和 3 年 4 月から令和 8 年 3 月）の 2 年目のホーム運営を行った。

利用者援助の基本方針

- ①人権を尊重し、信頼関係を築く。
- ②健康に留意して日常生活の充実を図り、安心、安全に就労が継続できるよう支援する。
- ③後見人、障害担当、支援センター、就労先等との連絡を密にし生活しやすい場を提供する。

利用者の年齢と障害程度区分の状況

	人数	年 令						障害程度区分			
		～25 歳	～30 歳	～40 歳	～50 歳	51 歳～	平均年齢	A1	A2	B1	B2
男性	3	0	0	0	2	1	48.0	0	0	1	2
女性	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0
合計	3	0	0	0	2	1	48.0	0	0	1	2

利用者の就労状況

一般就労	2
福祉的就労	1
その他(就労先未定)	0
合 計	3

担当保健福祉センター

麻生	多摩	宮前	中原	大師	田島
0	2	0	0	0	1

防火・防災訓練状況

消防用設備等点検	6/28	
	3/23	
防火対象物立入検査	6/6	改善点等なし。

<法人事務部門>

(1) 法人本部事業

なかはら障害福祉施設ひらま内に法人事務局を置き法人運営管理等を行った。

(2) 地域福祉施設管理事業（市管理運営委託）

地域福祉施設ちどり（高津区溝口）の管理受託者として事務局分室を置き会議室の管理運営を行った。

年間利用回数 619回、年間利用人数 6,670人

利用日 月曜日～土曜日（第2・第4日曜日の午前・午後、夜間利用；月水金）

(3) 地域福祉活動援助事業

主に事務局分室において次の事業を支援・実施した。

① 障害者ふれあい製品振興事業

- 販売活動
 - 川崎信用金庫展示即売はコロナ対応で中止。溝口駅南北自由通路展示即売は11月10日（木）に実施
 - 小田商店街常設展示販売実施
 - 個別受注斡旋実施
 - 新川崎タウンカフェ店舗販売実施（相談交流ひらま扱い）
- 製品展示
 - 川崎県民センター、市第三庁舎で展示、多摩市民館ギャラリーで「心のふれあい製品展」を実施
 - 広報活動：製品カタログ「HEART&HAND」作成配布

② 心身障害児（者）保護者団体運営費補助事業

- 地域余暇活動事業（学齢障害児地域活動）
- 心身障害者成人を祝う会開催事業 新型コロナウイルス感染症対策として、規模を縮小し、2部制にて1月14日（土）に実施
- 啓発事業（知的障害児者研修事業）10月31日（月）に実施

③ 在宅心身障害児（者）地域活動事業

- 知的障害児（者）対象；緑陰訓練・海水訓練・知的障害者本人部会活動
- 自閉症児（者）対象；体育訓練（縮小）・生活指導訓練（縮小）
- 肢体不自由児（者）対象；生活指導訓練

(4) 団体等補助・支援事業

- 川崎市育成会手をむすぶ親の会・川崎市自閉症協会・川崎市肢体不自由児者父母の会の活動費補助（市委託事業）
- 川崎市育成会手をむすぶ親の会事務局を分室において担った。

(5) 法人の地域における公益的取組

社会福祉法人の公益的取組として、①地域生活支援 SOS かわさき事業の「食糧支援かわさき」の食糧保管拠点として協力した。②パラアート振興基金を中心に市内で「まちかどパラアート展」の開催などパラアート活動に取り組んだ。川崎市内のパラアート活動を行う法人団体などの連絡会を開催した。

参考資料

令和4年度 職員数（令和5年3月31日）

事業所名		常勤	非常勤	合計
生活介護	生活介護事業所おおしま	12	3	15
	わたりだ	10	1	11
	むぎの穂	11	1	12
	生活介護事業所かせやま	7	2	9
	生活介護事業所ひらま	16	6	22
	ひさすえ	15	6	21
	ちとせ	12	9	21
	たちばな	11	4	15
	すえなが	10	3	13
	あかね	20	10	30
	なしの実	13	3	16
	給食	3	17	20
就労支援	就労支援事業所おおしま	3	3	6
短期入所	ライブリー	14	2	16
	短期入所事業所ひらま	14	0	14
日中一時支援事業所ひらま		2	0	2
移動支援等事業所		1	14	15
相談支援	ラルゴ	3	0	3
	ドルチェ	2	1	3
	相談交流ひらま	2	0	2
居住系	三田福祉ホーム	4	0	4
	とも共同生活事業所	14	8	22
事務部門	法人本部・事務局	6	2	8
	事務局分室/ちどり	1	4	5
合 計		206	99	305

※ 兼務の場合は、主事業所に計上

付属明細書

「社会福祉法」第45条の27第2項及び社会福祉法施行規則「第2条の25第3項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。